広島大学マスターズ

学びの窓

<31>

# サクラを巡る話題 ②

池田 秀雄（理学博士）

## 広島大学東広島キャンパスの桜

現在の東広島キャンパスに移転後、約1300本の桜が植えられた。そのうちの約800本はソメイヨシノで、それ以外に70以上の桜の園芸品種がある。また、キャンパス造成前のアカマツ二次林の中に生育していた野生種のヤマザクラとカスミザクラもそのまま残してある。ソメイヨシノは定植後30年以上経過したものもあり、花見の穴場となりつつあり、そのうちの1本は、広島市役所玄関南で被爆した樹木の枝から接ぎ木で増殖したものである。

園芸品種のコレクションは、近隣では造幣局広島支局の桜が有名であるが、東広島キャンパスでも幼木が多いものの品種数だけは負けないだけのコレクションになった。カンザンは濃いピンクの八重咲で花弁は散らず、塩漬けにして桜茶として利用されるが、キャンパス外周道路のソメイヨシノに混植してある。

他の園芸品種は主にキャンパス南部の外周道路の外側にある国際協力研究科周辺に植栽してある。カンヒザクラやカワヅザクラは花期が早く3月上旬には花が咲きだす。センダイシダレ（白花）とヤエベニシダレ（紅花）はともに枝が下方に枝垂れる。ギョイコウ（黄色）やウコン（黄緑色）などは八重咲で花色が珍しく4月中・下旬に花が咲く。以上のキャンパスのサクラについて、広島大学総合博物館から小冊子が無料配布されている。

**カンザン**　サトザクラ系品種、花は淡紅紫色で直径約5㌢八重咲（花弁は20～45㌢）。開花は4月下旬。アカデミック地区の北東部緑地帯にソメイヨシノの間に植栽。ソメイヨシノに比べ花期が遅く、花弁が散りにくいので緑地帯で長くサクラが鑑賞できるように植栽されている。写真／青山幹男氏撮影

**ウコン**　サトザクラ系品種、花は淡黄緑色で直径約4㌢八重咲（花弁は7～18㌢）。開花は4月上～中旬。サクラの品種としては珍しい花色。国際協力研究科南に植栽。写真／青山幹男氏撮影

広島大学マスターズは、広島大学を退職した教職員で組織しています。市民を対象にした講座も行っています。
【問い合わせ】
kazuwp@hiroshima-u.ac.jp（渡部）

過去の記事